

田中復興大臣記者会見録

(令和2年6月19日(金) 17:00～17:07 於) 県庁2階応接室)

1. 発言要旨

本日は、東京都と福島県の間 of 不要不急の移動の自粛緩和を受けて、いの一番に福島県をお訪ねし、内堀知事との意見交換を行わせていただいたところでございます。

私からは、復興庁設置法等の一部を改正する法律の成立のお礼と御報告、そして今後の復興への決意を申し上げたところでございます。

内堀知事からも、復興庁設置法の成立・施行についての感謝の御言葉をいただきましたし、また国際教育拠点の取りまとめがなされたことについても、感謝の御挨拶がございました。

コロナの件に関しては、3つの危機意識を持っていらっしゃるという話がありました。心が折れそうな気持ちを持っていらっしゃる方も多々あるし、また復興を実感しづらい、また現場主義ということで、実際にお目にかかることが、関係者とも、各自治体の方々ともできませんし、本当に危機を感じるというお話でございました。考えてみれば、私と知事とは、テレビを通じては6回お目にかかっておるという話も、知事さんはお話しになっておられたわけでございますけれども、いずれにしましても、いろいろと大切なお話があったわけでございます。

これからも現場主義のもとに、被災者に寄り添いながら、復興を加速させるために、私、そして復興庁を挙げて、全力を尽くしてまいりたいと思っております。このように重ねて申し上げたところでございます。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 先ほど知事のお話で、新型コロナウイルスが復興に与える影響について、危機意識があるというお話がありましたが、要は全国各地が新型コロナウイルスの影響を受けて、被災地のような状況になっているわけですが、そうすると、福島の復興に対して理解が得にくくなったりとか、関心が薄れたりするというおそれもあると思いますが、そうした中で、福島の復興に今後どのように国として取り組んでいかれたいか。

(答) いずれにしましても、今回、国会で議論があったわけですが、結果、関係法律5本を改正することができました。そのときにも何度も申し上げた経過がございますけれども、とにかくこの福島の復興は、まさしくこれからでして、課題はたくさんござ

います。こういう課題を、福島県はもとより、各関係自治体の皆さん、さらにはいろんな方々と、本当にきめ細かく御相談させていただき、お話を伺いながら、一つ確実に、着実に、前進させていく。この思いを強くしております。

また、いろいろと復興五輪のことがございましたけれども、今の時点では、私ども、復興五輪を来年きちっとやり遂げるという思いを持っておるわけでございます、このときにやはり国内・国外の皆様にも、復興の姿というものを知っていただく、またできれば福島に来ていただく、またいろいろと食材等もおいしいものを食べていただく、こういうようなこともアピールしていくことが重要だと思っております。風評被害は特に、私ども、これから払拭に向けての大きな課題だと思っておりますので、真剣な取り組みをしていきたいと思っております。

以上でございます。

(問) 復興庁は10年延長となりましたけれども、大臣としては、現状、福島の課題というものをどういうふうに分析してらっしゃって、今後10年どういうふうにしていこうという、見通しみたいなものはありますか。

(答) 今も申し上げたかもしれませんが、発災以来、9年から10年に向かうこの時期ではございますけれども、やはり課題がまだたくさんございます。ですから、復興に向けては、やはり道半ばであると、このような認識を強く持つておるところでございます。

もちろん、原発の事故というものが、大変な県民の皆さんに、地域の皆さんに御迷惑をおかけしておるわけでございます、このことについての対応を、きちっと、できる限り、関係省庁とも、地元の皆さんとも、しっかりと力を合わせて取り組んでいくということが当然のことではありますが、当然、生業(なりわい)を興し、そして避難していらっしゃる方々にも、また福島に戻ってきていただくことはもちろんですが、新しい皆さんにも、一つ福島の地で生活をしていただけるような、魅力ある県づくり、被災地の復興をなしていく、こういう思いを強くしておるところでございます。

(問) 先ほど復興五輪というお話がありましたけれども、大臣は率直に、現時点で、来年、復興五輪というのはできるんでしょうか。可能だと思われませんか。

(答) 私どもとしては、復興五輪を来年やらせていただくという思いを持って、今、準備をしていかなければならないと思いますし、御期待もいただいているわけでございます。ただ、現実は今後やはり注視していかなければならないと思っておりますけれども、

私自身、ぜひ一つ所期の目的が達成できるような復興五輪にしていきたい、この思いでございます。

以上でございます。

ありがとうございました。

(以 上)